



看護に夢中。



社会福祉法人
恩賜財団 済生会熊本病院
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL
〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
TEL.096-351-8000 FAX.096-326-3045
<https://sk-kumamoto.jp/>

社会福祉法人
恩賜財団 済生会熊本病院
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL



「済生」それは「生命を救うこと」

済生会は1911年5月30日、明治天皇の済生勅語によって創立されました。

100年を超える歴史があり、「済生」の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展をめざし、数多くの事業を行っています。

現在、社会福祉法人恩賜財団済生会として、第6代総裁に秋篠宮殿下を推戴し、有馬朗人会長、炭谷茂理事長の下、東京に本部、40都道府県に支部を置いて活動しています。

社会福祉法人として、また公的医療機関として、その機能を充実させ、さらに発展させるべく、

病院、介護老人保健施設、老人・児童福祉施設、訪問看護ステーションなど

370余の施設で約5万9千人の職員が保健・医療・福祉活動に取り組んでいます。

そして、2015年9月16日、済生会熊本病院は創立80周年をむかえています。

JCI認定病院

済生会熊本病院は、高い技術を持つ医師や、最新鋭の医療機器を有しています。しかしそういった「先進的で高度な医療の提供」以上に、「患者さん視点を徹底した、ミスや油断のない安全な医療の提供」こそが、より重要な医療の本質だと考えています。2013年11月には、医療機能国際評価基準であるJCI (Joint Commission International) を取得。JCIは世界90ヵ国以上に広がり、14領域1,100項目を超える、客観的かつ科学的な厳しい審査であり、病院では国内7番目、西日本では初の認証となりました(2022年11月4回目の認証)。JCIの認証取得も、どんなときにも“患者さん視点”を徹底するためのアクションのひとつです。

国内の病院における
 JCI 認定取得状況
 ※2022年4月現在

病院として
 西日本初の認定

15病院



CONCEPT

〔済生会熊本病院の理念〕

理 念

医療を通じて地域社会に貢献します。

～質の高い医療を済生のここるところとともに～

基本方針

救急医療	専門医療チームが24時間迅速に対応します。
高度医療	低侵襲治療・がん治療を推進し、医学の進歩をいち早く地域に届けます。
予防医療	質の高い予防医療を提供し、地域の健康づくりを支えます。
地域連携	医療・保健・福祉の連携を推進し、持続可能な地域社会を実現します。
人材育成	確かな技術と共感のこころを持った医療人、社会人を育てます。

BASIC PHILOSOPHY

〔看護部の理念と基本姿勢〕

理 念

私たちは、やさしさとぬくもりのある質の高い看護を提供します。

基本姿勢

1. 私たちは患者さんの人権を尊重し、安全と安心の看護を行います。
2. 私たちは患者さんの立場に立った看護を提供するために、知識・技術・感性を磨きます。
3. 私たちは組織の一員として、地域との連携を図り、継続看護を目指します。



contents

- 1 済生会の由来
JCI認定病院として
- 2 済生会熊本病院の理念
看護部の理念と基本姿勢
- 3 救急医療
高度医療
- 5 がん治療
入院支援
- 7 看護部の教育
- 9 サポート体制
- 12 ワークライフバランス
- 13 看護部長からのメッセージ
- 14 Question
- 15 福利厚生



EMERGENCY MEDICAL CARE

救急医療

求められる救急医療をカタチにする

当院の救命救急センターは、「断らない救急」をモットーに、年間約10,000台の救急車と約21,000人の救急患者を受け入れています。救命救急外来では、危機的状況にある患者さんに対しチームの一員として救急処置の対応や看護に携わっています。救急患者は、時や場所を選ばず発生します。救急現場では、あらゆる場面や限られた時間の中で、迅速かつ的確な判断が求められます。五感を駆使したフィジカルアセスメントの実践により、緊急度・重症度の判断を行い、より安心・安全な看護の提供を目指しています。2011年の東日本大震災および2016年の熊本地震では、DMAT（災害派遣医療チーム）として被災地で救護活動を行いました。日頃より、災害に対する訓練や教育を継続し、有事に備えています。また、院内外でも救急看護や蘇生に関する教育活動も行っています。



ADVANCED MEDICAL CARE

高度医療



チーム医療を支える
看護師の大きな役割

高度急性期病院である当院では、年間約5,800件の手術を行っています。脳血管疾患や心疾患、外傷など救急看護が必要な患者さんはもちろん、高度な看護を必要とする大手術後や呼吸器疾患の患者さんが多く、看護師をはじめ各専門分野による多職種チームとしての関わりが重要になっています。中でも看護師の役割は大きく、患者さんとの最初の接触から、治療中そして治療後まで関わる大きな存在です。救急看護、手術看護、集中ケア、脳卒中リハビリなどの専門性の高い認定看護師としての活躍の場がひろがっています。



救急医療の歴史

- 1964年 ● 救急医療協力病院の指定
- 1989年 ● 救急部の発足
- 1996年 ● 災害拠点病院の指定
- 2010年 ● 救急総合診療センターの発足
救命救急センターの指定(県内3番目)
- 2011年 ● 東日本大震災へ
DMAT(災害派遣医療チーム)を派遣
- 2013年 ● 救急ワークステーションの設置
- 2016年 ● 熊本地震
救急患者の受け入れ
DMATを派遣



チームによる高度な「がん治療」を目指して。



外来がん治療センターでは、QOL (Quality of Life) に配慮した治療を実施。

2007年に開設した外来がん治療センターは、化学療法や放射線治療など、通院してがんを治療する専門施設です。できる限りこれまで通りの生活を送りながら、最適な治療ができるよう、充実した設備とリラックスできる環境を整えています。



CANCER TREATMENT

がん治療

地域連携を中心に、チームによる高度な「がん治療」を目指して

当院のがん治療は、手術療法・放射線療法・化学療法を組み合わせた集学的治療や緩和医療(緩和ケア)を、地域と連携して取り組んでいます。がん患者さんは、痛みや治療の副作用などの身体的な苦痛だけでなく、病状の進行や生活の変化に伴う不安・恐怖など様々な精神的苦痛を抱えています。当院には、がん看護関連の認定看護師が6名おり、病態に応じて、それぞれの専門性を活かした看護を提供しています。様々な苦痛を抱える患者さんが、安心して治療を受け、その人らしい生活が送ることができるよう、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など多職種のチームで患者さんのQOL (Quality of Life)向上に向けて支援しています。



手術や放射線治療、抗がん剤を使用する化学療法など、これらを単で行うのではなく、がんの種類や進行度に応じて、さまざまな治療法を組み合わせた集学的治療を実施しています。



DISCHARGE SUPPORT

入退院支援

入院から退院後のサポートも看護師としての重要な仕事

入退院支援は、患者さんが安心して自宅で生活できるよう、入院前から退院後の療養先を一緒に考えていくことから始まります。急性期病院は重症患者の受け入れのため、在院日数の短縮が求められ、入退院支援は非常に重要です。当院では退院支援委員会の活動や入退院支援の教育など、患者さんの退院後の生活の視点が持てる看護師を育成しています。また、入退院支援部門である「患者相談支援室」に専従の支援看護師も配置され、各部署の入退院支援リンクナースと共働しながら、入退院支援の実践や地域との継続看護に努めています。



●退院支援看護師育成プログラム

患者の個別性を考慮した生活支援看護の視点を養い、安全・安心で効果的な退院支援を実践できる能力を身につけることを目的に、退院支援看護師育成プログラムを設けています。

1年目 退院支援に関する基礎知識の理解

- 退院支援概論
- 退院支援計画書立案
- 訪問看護概論
- 社会資源活用方法
- 事例検討会
- 認知症看護

2年目 退院支援に関する実践力の養成

- 退院カンファレンスロールプレイ
- 意志決定支援
- 取り組み発表会
- 訪問看護実習
- アクションプラン立案



SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL
EDUCATION OF NURSING

【教育】

基礎教育

少しでも早く、チームの一員として
 配属部署の環境や業務に慣れるよう
 教育担当者や実地指導者を配置。
 また、各部署単位のチーム支援型をとり、
 部署全体で新人看護職員の教育、指導を行っています。
 様々な教育プログラムがあり、技術的な内容だけでなく、
 安全管理などの研修も充実しています。

新人看護職員の教育目標

- 1) 安全・安楽を与える
 確実な看護実践が提供できるように、
 基本的看護の知識・技術・態度の習得ができる。
- 2) 専門性に加え、社会人としての責任と自覚を持ち、
 チームメンバーの一員として役割を發揮できる。

●基礎教育プログラム

期 日	4月	5～6月	7～8月	8～9月	10～12月	3月
病 院	オリエンテーション 済生塾	済生塾	リフレッシュ研修			
看 護 部	オリエンテーション 技術研修	技術研修 (BLSなど)	技術研修 (BLSなど)	シナリオ研修 (多重課題)	倫理研修	1年間のリフレクション
所属部署	オリエンテーション シャドウ研修	3ヶ月目 リフレクション		6ヶ月目 リフレクション	9ヶ月目 リフレクション	

●シミュレーション室

教育研修センター7Fにはシミュレーション室を完備。病室を再現した空間で、技術向上のための各種シミュレータを備えています。基礎技術研修やシナリオ研修などで利用しています(詳しくはP10を参照)。



技術研修
 看護師として必要とされる基本的技術を学びます。



技術研修
 お互いにディスカッションしながら技術の向上を図ります。



リフレッシュ研修
 先輩からのポジティブメッセージにリフレッシュ。



リフレッシュ研修
 他職種との同期と共に院外の研修施設での宿泊研修。院長も参加して、高いモチベーションで研修に臨みます。



BLS研修
 救急看護認定看護師・ISLSインストラクターが中心となって実践的な指導を行っています。



リフレクション研修
 新人同士1年を振り返り、次の新人を迎えるための心構えをグループワーク。

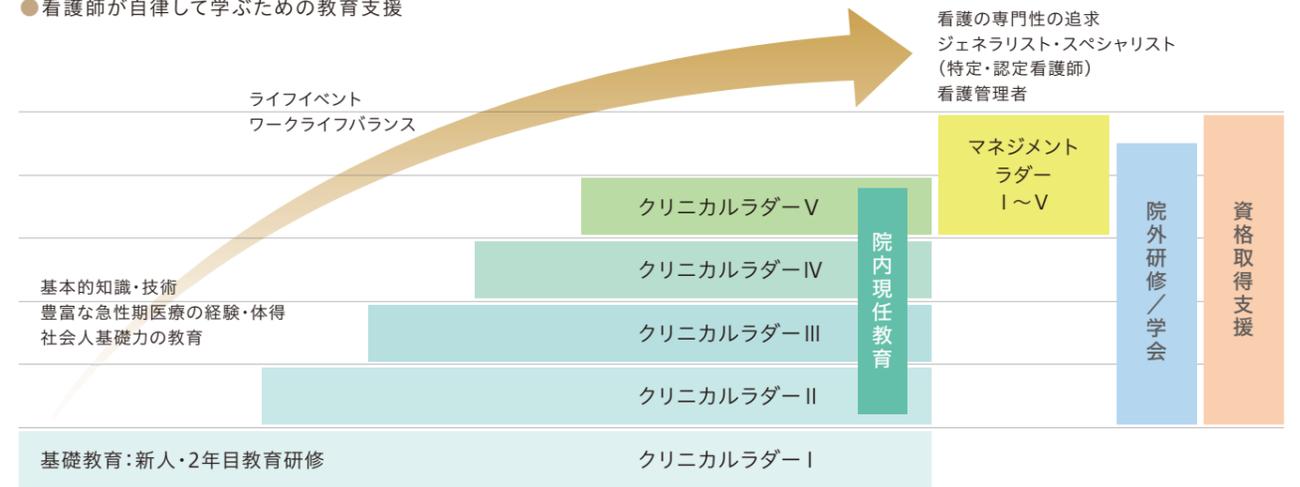
キャリア開発

当院では、継続教育を連動した能力開発・評価システムとして、
 クリニカル・ラダーを用いています。
 その中で、個人が一人ひとりの能力、キャリアに応じ、
 専門職として、自律して学ぶことができます。
 個人の目標達成に必要な看護実践能力の
 向上に取り組むことを、
 組織全体でサポートしています。

看護部がめざす看護師像

- 1) 患者の状態・状況を的確に判断し、
 根拠をもった高度専門ケアを実践できる。
- 2) 急性期から、患者の長期目標を予測しながら
 継続したケアを展開できる。
- 3) 他職種との協働の中で、
 医療チームの一員としての自覚・責任を持ち、
 調整・連携の役割が果たせる。
- 4) 専門職として自律でき、
 自己の看護能力を開発し発展できる。

●看護師が自律して学ぶための教育支援



●臨床実践能力の項目と研修内容

看護実践能力	教育	組織的役割遂行能力
看護過程の展開 実践 評価 コミュニケーション 看護倫理	自己教育 研究的思考 症例発表・看護研究 発表・学会発表など	安全 役割 経済性 社会的規律 医療安全・感染予防 災害訓練・接遇 リーダーシップなど
看護記録 フィジカルアセスメント リフレクション コーチング研修など		



認定看護師の活動
 各分野の活動報告会。
 新しい知見を共有し、
 実践に還元します。



リフレクション研修
 (教育担当者)
 先輩も新人の成長
 と自らの関わりを振り返ります。



院外新人教育研修
 当院だけでなく、院外
 スタッフも共に学ぶこ
 とで、地域全体の医療
 水準の向上にも繋がります。

Support system サポートシステム

日常の業務を通じて先輩や上司による指導を受け、スキルアップを目指します。また、各部署では多職種が一緒になって行う勉強会も開催されています。

Education Nurse

E-ナース

E-ナース(Education-Nurse)とは、新人看護職員の教育・指導・支援を行う指導専従看護師のことで、2012年度より導入しています。E-ナースは看護業務を行わず指導に専念する体制のもと、新人看護師の患者ケアを直接指導することで、新人看護師が確実に技術習得できるようサポートします。また、新人看護師が安心して業務を実施できるように、メンタル面のケアも行います。新人看護師にとっては毎日指導に専念するスタッフがいることで不安な技術や分からない点などをタイムリーに確認できる安心感にも繋がります。



「E-Nurse」と書かれた赤い腕章をつけています



E-Nurse

E-ナースは腕章が目印

新人看護師等の教育を行うE-ナースは全病棟に配置されています。誰が見ても分かるよう「E-Nurse」と書かれた赤い腕章をつけており、業務上の疑問点もその都度確認しながら働くことができます。

Partnership Nursing System

パートナーシップ
ナースィングシステム

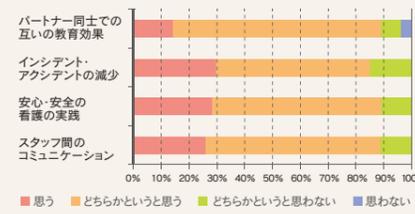


パートナーシップナースィングシステムとは、看護師2人がペアとなり看護を行うものです。患者さんの検査や治療の予定を確認し、問題点を共有しケア計画と一緒に立て、2人で協力して患者さんを診ます。経験の浅い看護師にとっては、先輩看護師と一緒に行動できる安心感と患者さんへの対応やケアの手技、観察のポイントを見て学ぶ機会になります。



現場の看護師さんに聞きました

パートナーシップナースィングシステムの導入により、病棟環境は改善されたと思いますか？



また、先輩看護師にとっても自らの技術確認や後輩育成への責任感にもつながり、丁寧な看護実践を心がけるようになります。患者さんへの質の高い看護を提供するとともに、看護師同士のコミュニケーション向上とより良いチームワークの育成にも繋がります。病院全体が後輩を育成しようという風土づくりに繋がっています。



階層別研修

病院全体で一人ひとりのキャリアをサポート

当院には、院内外における教育・研修を中心となって運営・管理する「教育・研究部」という部署があります。教育・研究部は、教育理念に基づき人材育成をおこなっています。

〈済生会熊本病院 教育理念〉

- 理念 高い能力と優れた人間性を持った医療人を育てます
- 基本方針
1. プロフェッショナリズム
 質の高いチーム医療を遂行するために、自らの役割と責任を認識し、誇りと協調性を持って行動できる人を育てます。
 2. 自己成長
 自らの人間性と知識・技術の向上のために、変化を捉える広い視野を持ち、学び続ける人を育てます。
 3. やさしさとぬくもり
 働きやすく暖かい職場を実現するために、思いやりを持ち、他者を尊重する人を育てます。

職種混合組織教育

昇格時研修	トップマネジメント研修	SAIKUMA講座(人間力、集団で仕事をする力) シミュレーション技術トレーニング(蘇生訓練)
	マネジメント研修【応用】	
	マネジメント研修【基礎】	
	プレマネジメント研修【応用】	
	プレマネジメント研修【基礎】	
6年目ステップアップ研修		
4年目リフレッシュ研修		
2年目フォローアップ研修		
1年目リフレッシュ研修		
済生塾		
入職時オリエンテーション		
内定者研修		

OFFJT



教育研修センター 外観

教育研修センター

2015年4月、職員教育の充実を目的に、教育研修センターをオープンしました。同センター内には、図書室を備えた学習スペース、各種トレーニング可能な多目的スペースや病室を再現したシミュレーション室を備えています。職員はこの快適な教育環境をいつでも自由に利用することができます。



6階 salvia(図書室)



7階 apice(多目的スペース)

●専門分野で活躍する看護師



高度専門医療に取り組む当院では、多くの認定看護師が在籍し、様々な場面で専門性を活かした看護を行っています。高度化・専門分化が進む医療現場において、看護師もますます専門的な役割が求められています。当院では、専門性の高い看護師の育成に積極的に取り組んでいます。

●専門・認定・特定看護師一覧

専門看護師
慢性疾患看護
感染症看護
認定看護師 (A課程)
集中ケア
感染管理
緩和ケア
がん性疼痛看護
がん放射線療法看護
がん化学療法看護
摂食・嚥下障害看護
脳卒中リハビリテーション看護
認知症看護
手術看護
慢性呼吸器疾患看護
皮膚・排泄ケア
特定認定看護師 (B課程)
クリティカルケア
皮膚・排泄ケア
がん薬物療法看護
心不全看護
脳卒中看護
認知症看護
特定看護師
術中麻酔管理領域
外科術後病棟管理領域

●特定行為研修の様子



●支援体制

済生会熊本病院では、認定看護師等の資格取得を目指す学習意欲の高いスタッフに対して、病院全体でサポートを行っています。例えば、認定看護師資格の取得には、認定看護師教育機関で6ヶ月以上の研修受講が必要です。当院では、受講費用等の経済的サポートを行い、また、受講期間中も周りのスタッフが業務をカバーするため、安心して資格取得に専念することができます。



●認定看護師資格取得までの流れ



家庭との
 バランスを保ちながら
 キャリアアップを実現

Message / がん総合支援室
 野中 幸 miyuki nonaka

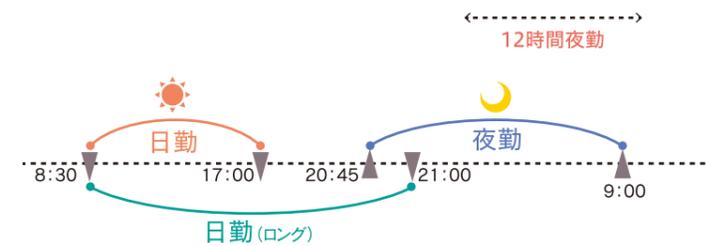
私はがん総合支援室に所属し、緩和ケア認定看護師として、組織横断的に患者さんへの直接ケアや看護スタッフへの相談対応を行っています。身体的・心理社会的・スピリチュアルな苦痛を抱える患者さん達の闘病や、療養の支援をすることが私の役割です。緩和ケア認定看護師を取得後に、結婚、出産を経て、現在は家族の協力を得ながら子育てと仕事を両立することができています。家族みんなの愛情を受けて、感性豊かな子どもに成長しています。出産後は、子どものために仕事を調整するべきかと悩んだことがありました。しかし、そんな時「子どもの夢を叶えるための手助けの一つとして、夢を実現しようと努力する親の姿を見せること」という記事を目にしました。私がキャリアアップを実現することで、夢を叶えること、人の役に立てる喜びを、母親からのメッセージとして伝えていけたらと考えています。



日本看護協会のガイドラインに沿った勤務体制を遵守

The flow for one week 【一週間の流れ】

DAY	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
区分	日勤	日勤	日勤(ロング)	夜勤	夜勤	休日	休日
時間	08:30 17:00	08:30 17:00	08:30 21:00	20:45 00:00	00:00 09:00		



かえるバッジ
 「かえるシステム」は、業務時間改善のために生まれたシステム。このシステムを利用する場合は、専用のバッジを付け、他の勤務者にも協力してもらいながら終業時間を迎えることができます。リフレッシュしたい時に有効に活用しています。

第一線で働く看護師たちの“今”。

伝統と尊い理念を誇りとし、
 質の高いレベルの看護を自律して学ぶ看護師を支援しています。

看護部長からのメッセージ

深い歴史と尊い理念のもとで、
 専門性の高い知識・技術を持った、
 感性豊かな看護師を求めています。

済生会熊本病院の看護は、「医療を通じて地域社会に
 貢献します」という理念のもとに、先人たちが脈々と
 培ってきた「やさしさとぬくもりのある質の高い看護を
 患者さんに」という想いを大切にに取り組んでいます。
 看護部は、個々の看護師が根拠を持って患者さんに
 説明できること、確かな看護技術が提供できること、プ
 ロフェッショナルとして責任ある姿勢がとれることを大
 切にし、看護師が主体的に学び、行動できるよう支援し
 ています。

また、直面する難題にしなやかに適応し、そして撥ね返
 す「レジリエンス」を高めるためにも、働くスタッフがお互
 いを尊重し、風通しよく、そしていきいきと笑顔で働き続
 けられる職場環境づくりを大事にしています。

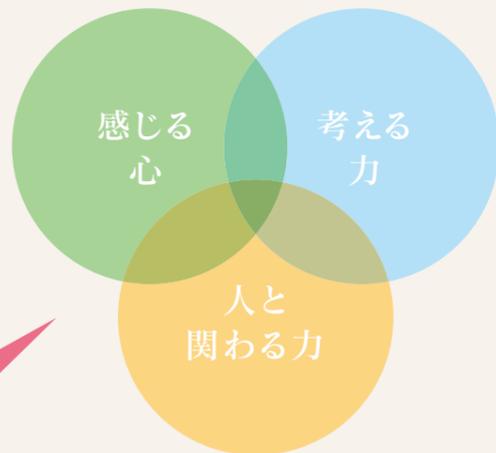


看護部長
牛島 久美子
 kumiko ushijima

看護師像 当院が目指す

周囲の人に感心を持ち、多くの刺激を
 自分に取り込むことで「豊かな感性」を育む

相手の立場を感じ取り、専門職として
 科学的根拠に基づいて「何をどうすべきか」を
 考え、個々のニーズにあったケアを実践する



「感じる心」「考える力」
 「人と関わる力」を
 バランス良く持つ

Question?

済生会熊本病院の先輩ナースに聞きました

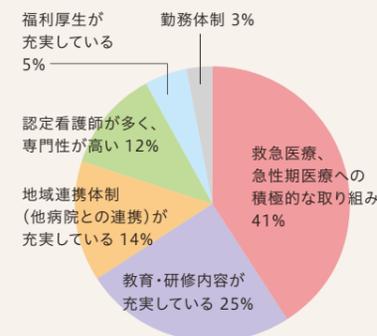
先輩ナースの体験談

4西病棟 古閑 直哉

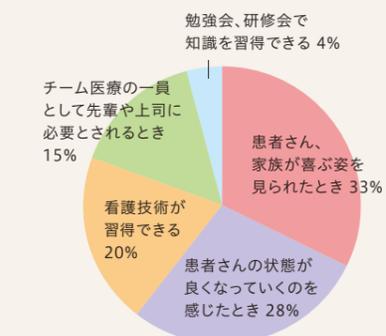
私は、当院の臨地実習やインターンシップに参加し、質の高い看護を提供するために必要なスタッフ間のコミュニケーションや働きやすい職場づくりが整備されていると感じました。私も各専門分野の多職種のチームで協力して看護を提供したいと考え、当院への入職を決めました。私の働いている4西病棟は心不全や急性心筋梗塞などの心臓疾患の患者さんが多く入院される部署です。入職当時は、何もわからず不安なこともありましたが、PNS(パートナーシップナーシングシステム)が導入されており、先輩看護師と一緒に安心して患者さんの対応やケアを行うことができます。先輩職員の指導のもと臨床実践能力評価表を用いて、ケアの見学から開始し、その後、指導のもと実践し、一人で実践できるまで段階を踏みながら基本的な看護技術の習得が目指せます。そのため日々、知識や技術を身につけることができ、新人看護師が安心して学べ、自信をもって働ける環境が整っています。私は現在、新人教育の実地指導に携わり、新人看護師が自分自身の知識や技術を磨き、安心・安全な看護を提供できるようサポートしています。最初は慣れない環境で、初めての経験をすることばかりだと思いますが、新人教育体制や病棟の雰囲気もよく働きやすい職場だと思います。皆さん、ぜひ私たちと一緒に働きませんか。



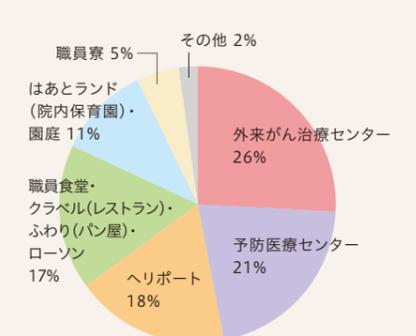
Q-1 済生会熊本病院の良いところは?



Q-2 看護師になって良かったと思う瞬間は?



Q-3 済生会の自慢できる場所は?



※全て複数回答可



子育てしながらでも
 仕事を頑張ることができる
 環境が整っています

療養支援室
 Message 早田絵里子 eriko souda

私は院内保育園に二人の子どもを預けながら、心臓血管センターに勤務し、日々看護師としての経験を積んでいます。朝から子どもと一緒に通勤し、子どもを送り出した後、気持ちを切り替えて職場に向かいます。緊急入院の患者さんの対応などで迎えが遅くなることもありますが、院内の保育園であるため、仕事を責任持って終わらせ、子どもを迎えにいきます。当院は、病児保育の環境も整っており、子どもが体調を崩したときも安心して預けることができます。最初は泣きながら登園していた子どもたちでしたが、季節の行事や催し事も多くあり、元気いっぱい楽しく遊んでいるようです。今では笑顔で登園し、その日あった出来事を嬉しそうに話してくれます。子どもの適応力の高さ、何事も楽しむ力を身近に感じ、私自身も看護師としてさらにキャリアアップできるよう頑張っていると思っています。



WELFARE PROGRAM

福利厚生

職員の生活の向上を支援するために、福利厚生施設も充実。子どもがいても働きやすい環境をととのえるため、2010年に院内保育園「はあとランド」を開設。また、2015年には教育研修センターをオープンし、より快適な職場環境を整えました。その他、コンビニエンスストア(ローソン)や職員食堂、焼きたてパンの店など充実した施設環境を整えています。

運動会や発表会、夏祭りなど季節に応じた催しがたくさんあります。

院内保育園 はあとランド

当院で働く職員のうち、7割が女性であり、20~30代の女性が6割近くを占めている背景から、子どもの近くで安心して働ける環境を提供するために院内保育園「はあとランド」が2010年にオープンしました。2015年には教育研修センターへ移設し、100名の園児の受け入れが可能に。さらに病児保育室も完備し、ますます働きやすい環境を整えました。



園内



園内



園庭



テラス

教育研修センターや図書室・食堂など充実した設備



女性ロッカー内パウダールーム



ユニフォームは毎日清潔なものに交換できます



サルビア(図書室・勉強室)
 24時間利用が可能で、PCコーナーにはパソコン20台以上、ラウンジコーナーではくまモンの上でくつろぎの空間が。ポスターも印刷可能な複合機や、統計ソフト、Wi-Fi、WEB会議専用コーナーも完備しています。



職員食堂

毎日職員価格で食事ができる職員専用の食堂です。栄養バランスやカロリーに配慮した定食や麺類、カレー、おにぎりなど充実しています。



フィットネスセンター

エアロバイク・ウォーキングマシンなど、各種トレーニングマシンを完備。健康・体づくりにも。



ローソン済生会熊本病院店

食料品・書籍・衛生材料などがそろったコンビニエンスストア(ローソン)があります。夜間も営業しており、その他食品も購入可能な自動販売機もあるので夜勤帯も安心です。



ベーカリー&カフェ

済生会熊本福祉センターが運営しています。店内で作る焼きたてのパンはおすすです。

STAFF HEALTH CONTROL ROOM

職員健康管理室

2013年9月に職員健康管理室を設置し、職員のこころとからだの健康を守るためのサポートを行っています。職員健康管理室には、産業医、保健師、臨床心理士、事務員が専任で在駐していますので、気軽に相談できる体制が整っています。



当院の職員の健康に関する方針

- 職員は「自分の健康は自分で守る」という意識をもって、自らのこころとからだの健康づくりに主体的に取り組み、済生会熊本病院はそれを支援します。
- 済生会熊本病院は、職員が高い志気を持って能力を十分に発揮できるよう、安全かつ快適な職場環境をつくり、充実した職場生活を送れるよう支援します。
- 個人情報の適正な利用と管理の徹底を図るとともに、法令を順守した健康管理を推進します。

主な業務内容

事業内容	目的
健康推進計画	職員健康診断の実施、精密検査受診フォロー、産業医との面談、臨床心理士との面談、職員への健康教育、疾病予防まで、一貫して計画的に実施・管理する。
感染防止対策	抗体価の管理、ワクチン接種の実施・管理を一貫して行い、職員を感染から守るだけでなく、患者さんへの感染防止にもつなげる。
組織健康度	職員の健康に関するデータを用いて、組織の健康度の指標を作り、それを測ることで組織に必要な課題を把握し健康推進計画等に活かしていく。

NURSE DORMITORY

看護師寮

病院から15分の場所に位置するマンション式の看護師寮(個室、1LDK、冷暖房完備)があります。

1. 寮住所、間取り、設備等について

ウエストフィールド1番館(20戸) ●病院より車で5分
住所 〒862-0968 熊本市南区馬渡2丁目5-16
間取り 1LDK
設備 エアコン、コンロ



オートロック付玄関



LDK

2. 入居期間について

- 入居期間は、原則、最長2年間です。
- 原則、途中退寮はできません。
但し、やむを得ない事情がある場合は、その限りではありません。

3. 寮費について

- 敷金、礼金は、不要です。
- 寮費の個人負担金額は、月額24,000円です。

LIFE INFORMATION
ウエストフィールド1番館の周辺施設
最寄りのスーパー …… 約400m(車3分)
コンビニ …… 約200m(徒歩3分)
ドラッグストア …… 約150m(徒歩2分)
駅(JR平成駅) …… 約900m(車5分)

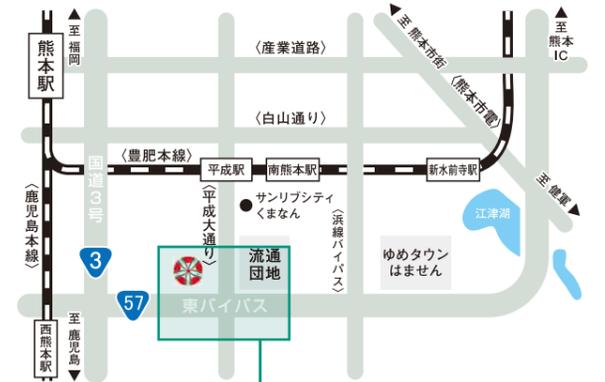


外観

※写真は全てウエストフィールド1番館のものです。

済生会熊本病院概要

名称	社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院
開設年月	1935年9月16日
標榜科	内科、外科、消化器内科、消化器外科、整形外科、呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、循環器内科、脳神経外科、神経内科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科
職員数	2,117名(うち看護師798名) ※2022年4月1日現在
許可病床数	400床 救命救急センター42床(EHCU18床、救命救急病棟24床)、集中治療室(ICU)18床、ハイケアユニット12床、7対1一般病棟328床 含む
主な設備	内視鏡手術支援ロボットダヴィンチ(da Vinci)(2台)、リニアック、PET/CT、ガンマナイフ、MRI(4台)、CT(6台)、血管造影装置(5台)、IVR-CT(1台)、核医学装置[ガンマカメラ](2台)、CR装置、人工透析装置(66台)、高気圧酸素治療装置、手術室12室、ハイブリット手術室2室(血管造影室内)、モバイルCCU、ヘリポート、災害拠点備蓄倉庫
主な公的認定等	救命救急センター 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 臨床研修指定病院 JCI認定病院 卒後臨床研修評価機構認定病院 DPC対象病院 など



済生会熊本病院のことを

もっと知りたい!
もっと聞きたい!!

済生会熊本病院リクルートサイト
<https://sk-kumamoto.jp/recruit/nurse/>



採用ホームページにもぜひアクセスを。看護部長からのメッセージや部署の紹介、専門分野で活躍する認定看護師についてなど、当院がより詳しくわかる情報が盛りだくさんです。採用説明会や病院見学の最新情報も随時アップしていきます。また、各種説明会、見学などの受付もホームページよりご確認ください。

